

亀岡市循環型社会推進審議会 会議記録

会議名	第51回会議
日時	令和4年10月4日(火)午後2時00分～4時00分
場所	亀岡市役所 6階602・603会議室
出席委員	別添名簿13名のうち9名
事務局	8名
傍聴	0名
次 第	
1 開会 2 会長挨拶 3 審議事項 (1)一般廃棄物処理基本計画の策定(改定)について(その1) ①亀岡市ゼロエミッション計画(ごみ処理基本計画) ②亀岡市生活排水処理基本計画 4 連絡事項 (1)次回の審議会について 5 その他 6 閉会	

会 議 の 概 要

■事務局

定刻となりましたので、只今から第51回亀岡市循環型社会推進審議会を始めさせていただきます。

皆様には、大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。
開会にあたり、会長より挨拶を頂きます。会長、宜しくお願い致します。

■(会長挨拶)

■事務局

当審議会の運営につきましては、審議会条例施行規則第5条第2項により、委員の半数以上の出席がなければ会議が開催できないと規定されています。

本日は、委員13名中9名の出席をいただいております。半数を超え、本会が成立していますことをご報告致します。

なお、本日は本市が計画策定業務を委託している事業者がオブザーバーとして参加しております。

続きまして、お手元資料の確認をさせていただきます。

会議次第

資料 1 亀岡市ごみ処理基本計画の策定に係る実施計画について

資料 2 亀岡市生活排水処理基本計画の策定に係る実施計画について

資料 3 一般廃棄物分別種別の拡大及びごみ袋等の手数料の改定について(答申)
でございますが、資料の不足はございませんか。

それでは、亀岡市循環型社会推進条例施行規則第5条第1項に基づき、会長に議事進行をお願いしたいと存じます。会長、よろしく申し上げます。

■会長

それでは、次第に沿って進行させていただきます。

先日提出した答申については文言を修正の上、議長に提出しておりますので、お目通しください。

審議事項一般廃棄物処理基本計画の策定について市長から諮問を受けました。事務局より説明をお願いします。

■事務局

それでは、協議事項「一般廃棄物処理基本計画の策定について」、ご説明申し上げます。スライドをご覧ください。

－資料を用いて、説明－

事務局からの説明は以上でございます。

■会長

只今の説明について、ご質問、ご意見はございませんか。

■委員

環境が変わったから中間年度で変えるというわりには、前回は埋立処分場を作らないという大きな目標を掲げていたのに、今回は今の段階では小粒だという印象があります。

カーボンニュートラルを前面に出しているわりには、そこへの施策や取り組みの記述がないと思います。とくに焼却処分場をこれから10年以内に延命化という話はありませんが、亀岡市の温室効果ガスのうち焼却処分場が占める割合が高いので、そこに手をつけずにカーボンニュートラルを語っても、市民から見れば市役所は何もしないのに私たちに押しつけているということになると思います。

説明にあった広域化や既存施設の修繕、民間委託といったことは、どちらかという方針、方向性に関するもので、それが決まっていないものが、10年後建つとは思えません。どれをするにしても、今から取りかかってもいいと感じます。

前回まで議論してきたごみ処理手数料について、ごみの減量化や2Rを本気で進めるならば、ごみ処理手数料でインセンティブをつくらないと動かないと思います。いわゆるセーフティネットがないまま料金を上げることは理解が得られないと思いますので、ごみ処理手数料を上げることを前提に、減免の制度や不法投棄対策、資源の拠点排出施設を設けて、分別を頑張れば負担が下げられる環境下で手数料を上げていかないと、絵に描いた餅になると思います。

■事務局

まず可燃処理施設については、設計当時から時間が経っていますので、ごみの量などで若干適正ではない部分もあります。京都府の指導によりまして、広域で処理できないか協議しています。今後新設するにしても、修繕するにしても、そのあたりを考慮して進めていきます。

ご指摘があったように、減らすことの重要性は理解しています。プラ新法が施行されたため、プラスチックごみは一括回収することで、可燃ごみのなかのプラスチックごみが減ると思います。将来的には、生ごみや紙ごみも減らしていく計画としています。

新たに施設を作るにしても、修繕するにしても、10年は長いようできりぎりだと考えています。計画を立てて、予算を立てて、地域の説明をする必要があります。そのあたりも含めて一緒に検討をお願いしたいと思います。

処理手数料については、今回の見直しで値上げを提案したところ、色んな意見をいただく中で、今回は手数料を上げることはせず、なるべくごみ減量を努力するという方針をいただきました。それでも減らない部分は、処理手数料の値上げや、ひと手間ふた手間かけると手数料負担が下がるような仕組みを考えていく必要がありますので、来年度以降に検討していきたいと思います。

■事務局

カーボンニュートラルについては、亀岡市の事務事業編では、半分以上を埋立処分場と焼却施設が占めており、検討課題です。一方で、市域全体で見ると割合は小さくなりますが、大きな課題であることには違いありません。

今後、生ごみをどう処理していくかが今後の検討課題になってきますが、今回の計画にどれくらい盛り込むかは課題があると思いますが、整備の方向性を決めることが喫緊の課題です。

■委員

焼却処分場の温室効果ガスでいうと、容器包装類が抜けてきた関係で、逆に助燃剤を使って重油を消費している状況になっていると思います。プラスチックごみを何かなんでも分別してリサイクルにまわすことがよいかどうかは考えてもらいたいです。

ごみの収集にもガソリンを使っていますが、すぐに電気自動車に代えるわけにはいかないですが、市の取り組みとして、少しずつでもハイブリッド車や電気自動車に、市バスでもいいので変えていってもらいたいです。

■事務局

ごみの焼却については、平成26年に組成が変わって燃やすのに苦労をしましたが、現在のところ助燃剤を使う状況ではなく、ごみを乾燥させて投入すると自燃しています。今後、プラ新法の関係でさらにプラスチックごみが減ると状況は変わるかもしれませんが、助燃剤をなるべく使わないように運用を考えたいと思います。

■委員

ひとつは形式的な話です。この計画は私が読んでも難しいです。上位計画である環境基本計画では、「資源循環型社会の形成」として5項目を挙げており、大体合っていると思いますが、4番目の「廃棄物の適正処理」は、こちらの計画では全体に分散しているようです。新しいのは基本方針3で「亀岡市内の地域特性に応じた分散型地産地消システムを構築し、脱炭素ゾーンの拡大に努めます」とありますが、これが私にはわからなかったんです。脱炭素の内容を加えるためにこの基本方針を入れたのかなと思いました。要は整合性です。環境基本計画でいう「廃棄物の適正処理」の内容は全体に分散させて、新しく基本方針3を入れたのであればそれで結構ですが、お考えを聞きたいです。

環境基本計画を作ったときも皆が同じ思いでしたが、基本方針を5項目挙げたので

あれば、それぞれについて個別計画へと展開していただきたいです。例えば、ここでの個別計画の先頭はリデュース・リユースですが、これは基本方針の1でもいいし基本方針の5でもいいわけです。両方に繋がっていてもいいですが、紐付けをしてほしいです。

そして、環境基本計画を策定したときもそうでしたが、最初に指標の将来推計と目標値の設定を最初に出して、個別計画に進むんですが、そうではなくて、先に基本方針があって、それに基づく個別計画を立てて、個別計画を達成するための指標や目標をそれぞれ最後に立ててほしいです。最後に目標値などを検証し追跡していくという形でやっていただいたらわかりやすいと思います。

2つ目は参考意見ですが、前計画でも話してきた通り、一番必要なのは市民にどう伝え、挑戦していくかなんです。この計画ではどういう挑戦にするのか読み取れないので、次回以降作っていただいてもいいかと思いました。

環境基本計画には南丹保健所も参加しておられます。南丹保健所では小学生の環境教育としてSDGsを盛んに教えておられます。南丹は亀岡市、南丹市および京丹波町です。南丹でSDGsを広めるためにはスタジアムを活用せよと市に提案がされています。亀岡市もごみに関するこういうことをやるんだということを、他市町村からも人が集まって来るスタジアムで打ち出して宣伝してはどうかと思いました。

■事務局

計画の説明については、私も説明していてわかりにくいと思いました。前のごみ処理基本計画では、人口がどうなるとごみも減ってくるから処理をどうしましょうと堅苦しい内容でしたが、市民の皆さんがどういう目標を持ってごみ処理に取り組むべきかを明確に打ち出すべきだよねとなって、埋立処分場が終わってもずっと水処理をしなければならぬので、負の遺産になるため、それを更新しないということを目標に掲げて計画を策定しました。たしかに計画を作る上で将来設計など難しい数字は出てくるんですが、それは後半に資料として置いて、前半にそれを出しました。今日の資料は難しいですが、この審議会で亀岡市の5年、10年をどうするかのをまずはおもてに出して、それに肉付けをする形で計画を作っていくたいです。将来亀岡市で暮らす子どもたちにプラスになるようなご意見を頂戴したいです。保健所とも協議する機会があるので、ご意見伺っていきたいと思います。

■委員

資料を事前に読んでいなかったですが、前はゼロエミッション計画ということでしたが、今回は焼却ごみを出さないという内容でした。基本的には燃えないごみを出さないということですね。細かいことは別として、最初にわかりやすいやり方としては、燃えないごみを出さないということをわかりやすくしたらいいと思います。

前回まとめた答申の内容と基本計画の扱いはどうなるのかをお聞きしたいです。

■事務局

ターゲットとしてはごみの分別拡大ということでしたけども、この中で出た意見については計画にも反映していきたいと思います。

■委員

環境基本計画が上にあって、ごみ処理の体系がどうなっているのか、市民はすべてを読んでいただけないと思います。だから、ごみ処理計画というタイトルではなく、燃えないごみを出さないということがわかるタイトルにしないとと思います。焼却ごみを埋立ごみに置き換えるのではなくて、本当のゼロエミッションを逃げていないわけではないと思います。ごみ処理に対する体系、考え方のまとめ方があると思います。これから2、3年は燃やさないごみを減らしましょう、次はこうしましょうということに繋がっていくと思うので、それが上の環境基本計画と繋がっていることが読んでいてわからなかったです。

■事務局

前回のごみ処理計画も、結局皆さんに読んでいただきたいのは最初の4ページくらいです。上位の環境基本計画についてはもう少し広い視野で環境を考えるという上位法令です。その考え方をくんで、ごみ処理・環境について計画を立てます。行政が作るのとわかりにくくなるので、だれが読んでもわかりやすいようにしたいです。みなさんの将来こうしたいという思いを活字にして、だれが読んでも亀岡市の将来はこうなるんだな、これを見て、ごみ処理の考え方や買い物をするときはこうしてほしいということがわかるように前半部分を作っていきたいです。

■委員

プランを立てていくことと、わかりやすく計画を立てることは大事だと思います。それと同時に、市民が生活で出会う不便さがあります。学校などの場で環境教育をどうしていくか計算していくことが大事だと思います。

さらに、減らす、出さない、作らないというところについては、例えば夫はペットボトルを使い終わったら、ラベルを取る手間がわかっているようでわかっていないんです。どこから剥がすか方向が見えにくいんです。JIS規格のように統一したり、色弱でもわかるようにしたり、企業の側で工夫してほしいなと思います。入口を工夫すれば、だれでもわかるようになると思います。そういう企業の、社会的に減らしていく仕掛け・戦略が工夫されているものを取り上げていきませんか。

しっかりしたプランがあっても、現実的に市民がどこから手をつけられるでしょうか。ちょっとした変化、キャップとかでいいんです。「いやーこんなんができるようになったんや」となれば、共感であり、実感であり、行動に移せます。出したらあかん日にごみを出す人には100回言っても仕方がないですが、ここは何曜日に収集ですと書いて貼っておくとわかってもらえます。そういうものが今回出せたらいいなと思います。きちっとした章立ても必要ですし、市民感覚の生活に根ざしたものがぴりっと入っているものが私

はいいと思います。

■委員

世界に誇れる環境先進都市として、尖ったところがほしいです。尖っているところが、だれでもすぐにわかるものもいいです。脱炭素なら焼却処分場だと思います。脱炭素なまちづくりではなく、燃やすごみの削減のほうがわかりやすいと思います。

指標の作り方ですが、景気の変動で変わるものばかりで、行政がコントロールできるものではないんです。焼却処理量や焼却処分場のCO₂など、こちらの本気度がわかる指標も加えてほしいです。

■事務局

わかりやすい指標を検討したいと思います。尖った目標と言えば、前回も埋立処分場を作らないという大胆な計画をつくりました。ゼロエミッション計画としたときに「ゼロにはならない」と散々言われましたが、その方向性を出すことで若干皆さんの意識も変わり、最近埋立ごみの中身も変わってきています。そういう意味では、もう可燃施設を作らないくらいのほうが面白いかなと、実際は無理かもしれませんが、全部やめようとか、これをしようといった意見をいただいたら、それも反映していきたいです。

それと同時に、計画だけでなく、行動に移しやすいように、例えば、資源化してくださいと言っても出す場所が少なければ協力してもらえないので、そのあたりは市の努力でできると思いますので、ご意見を出していただきますようお願いいたします。

■会長

例えば、リサイクル率をみたときに、全国トップの自治体で80%を超えていますが、亀岡市は20%程度で全国平均にも届いていないのが現状です。今後10年でトップやトップレベル、日本一を目指すようなことがあってもいいのではと思います。

隣の京都市が処分場の問題を抱えていて家庭ごみの排出量が政令都市の中でもダントツの最下位ですが、半減しようと目標を掲げて実現されました。何かわかりやすい目標が大事だと思います。

ごみを焼却処分しているのは日本が多すぎるのであって、世界では非常識です。意欲的なことを書いていただいています。例えば、スライドで「脱炭素化を目指した焼却処理に極力依存しない廃棄物処理の視点を検討する」と書いていますが、奥歯に物が挟まったような感じがします。とりあえず出来る・出来ないは皆さんと協議が必要ですが、「極力」はとってしまって、「視点」も削ってもらっていいと思います。さらに下の文章で「ごみ焼却施設」という言葉が何度か出てきますが、この言葉は使わずに、「ごみ処理施設」にしてしまうというようなことが大事だと思います。

他の自治体の調査や国内外の先進事例もやっていただいたらいいと思います。岡山県真庭市では生ごみをすべて堆肥化します。ふつうは迷惑施設ですが、場所を選定する際に、真庭市では市内6か所から手が上がり、選ぶのに困ったといいます。意識の

変化を起こしていかないといけないと思います。

他の委員が指標について指摘していましたが、カインズの店頭でも紙ごみなどを回収してくださっていると、処理しにくいものだけが市の回収に集まり、リサイクル率が下がってしまいます。市全体のリサイクル率も、新たな指標として検討すれば、景気にも左右されないと思います。

■委員

私は知り合いと生ごみコンポストを広めようという活動をしているんですが、イベントを開くと、思っていたよりも興味のある方が多くて、自分のところでも生ごみを処理できたらいいなという声を聞きました。市民も意外とごみ処理についてそう思っていると思うので、ごみ処理の方法をわかりやすい方法で計画に盛り込んでもらいたいです。

■委員

私は移住者ですが、ごみゼロ運動やマイバッグ運動について、ネガティブには思わず、むしろ誇らしく思いましたので、もっと尖っても良いと思います。指標については、自分たちがどんな数値にどう関わっていくかを考慮して設定していければと思います。

■委員

生ごみを処理する方法として、段ボールコンポストがあります。EM 菌を使って簡単にできることを皆さんにお知らせしたいなと思います。

■会長

「生ごみを出さない袋」を作って、生ごみを出さない人は無料でごみを出せるといったこともあればいいかもしれませんね。

■委員

小学校や保育園で環境学習をしています。子どものほうがよく知っていて、お母さんの方がどうやって捨てるかわからないこともあります。お母さん方にも、自治会単位でいいので、分別の仕方を教えてもらったらいいなと思います。意識は上がってきているので、コンポストにしても、マンション生活の方は、臭いがでないかなとか話題にはなっていて、興味はあるけど一歩が出ない状況です。結構皆さん会話に出るので、もっと教えてほしいです。

■事務局

前回の会議で、分別の拡大まで協議していただきました。もう少し先、自治会単位で説明会をしたいと思うので、呼んでいただけたらと思います。

コンポストにしても、いろんな種類があって、堆肥になってたまるものや、増えずに消えていくものもあります。基本的には簡単ですが、虫がよってくることもありますので、

説明に加えていきたいです。

■会長

カインズさんでキエー口のワークショップをされていますね。虫がわからないようにするにはコツがあるので、そこを押さえておけば大丈夫です。梅田の阪神百貨店でも、店員がおしゃれなカバン型の堆肥化に取り組んでおられます。都会のほうはむしろ関心もって取り組んでおられるくらいです。田舎のほうは畑でやる緑色のコンポストのイメージが染みついているままです。

いつも議論になりますが、例えば拠点回収や公共施設が高齢者にとっては遠くて使いづらいので、それをどれくらい増やすか、自治会も一緒に議論を深めて、もう一度やってみようということになったらいいなと思います。

■委員

収集してくださるエッセンシャルワーカーに対して、仕事だけども、同時にそういう領域で働いてくださっている企業や行政の皆さんに対しての感謝の気持ちということで、自治会で、ごみの置き場にハートマークを貼っています。計画を策定するにあたって、そういう領域で働く方のことを私たちは忘れがちですが、そういう方々への環境文化として、世界に通じる対応もしながら、日本の「ありがとう」の思いを、何行かでもよいので、込めたいです。市民も学ぶ必要があります。

■委員

プラスチックごみゼロというとても尖った目標がすでにあります。計画ではあまり言及されていませんが、削減ではなくゼロなんだということを基本理念から打ち出すのも手だと思います。スローガンであればゼロでもよいと思います。

使い捨てプラスチックごみをゼロにする話とプラスチックごみゼロは違う話ですが、プラスチックごみゼロを打ち出せば、この計画は尖ったものになると思います。ゼロを目指すのであれば副題にも表記したらよいと思います。徳島にある町のようにゼロウェイストを目指したらさらに尖って先進環境都市になるでしょうけど、亀岡市がそれを目指すべきかどうかはわかりません。

■会長

ゼロウェイストは上勝町や東京の町田市でも目指してやっていますので、突き抜けてはいますが、亀岡市も目指せないことはないと思います。ゼロウェイスト宣言という国際的なグループがあるので、是非そういうことも視野に入れてもらったらいいと思います。

基本理念については、事務局も委員の皆さんも宿題ということで、スローガンを考えていただけたらと思います。

■会長

2つ目の協議事項「亀岡市生活排水処理基本計画」について事務局からお願いします。

■事務局

それでは、亀岡市生活排水処理基本計画についてご説明申し上げます。スライドをご覧ください。

－資料を用いて、説明－

事務局からの説明は以上でございます。

■会長

いわゆるくみとりの処理についてであり、下水道とは別ですが、ゆくゆくはし尿と下水を一緒に処理できないかを検討していくということです。只今の説明について、ご質問、ご意見はございませんか。

■委員

船井衛管をメインに考えていて、それに代わるもので下水道接続を検討するという書きぶりで、ウィンウィンなので船井衛管で広域処理をすることは個人的には賛成ですが、本当に船井衛管依存でいいかという、下水道処理も協力して進めてほしいです。公共下水は、法律の縛りもあって受け入れが難しいと聞いていますが、人口も減ってきて受入量も減ってきていると思うので、そういうところを拡張するなりして使うことも地産地消という形ではよいかと思います。

計画収集人口や下水道区域内人口が出てきますが、接続違反のペナルティ強化をしなければ、それが抜け落ちたまま下水道区域外は受け付けませんと言っているけれど、接続後2年以上過ぎているところは法令違反なので、強化することも必要だと思います。

■事務局

船井衛管で処理すること自体は問題ないですが、そこまで運ぶことはCO₂を排出することになりますので、色んな方策を下水道課と亀岡市域内でできないか検討しています。下水道課がする事業と環境部門うちがする事業は管轄する省が違いますが、国もそこを超えた事業をしているので、補助金を使ってできれば活用していきたいと思います。

下水道区域内の未接続世帯については下水道課の方での対応になります。

■会長

くみとりし尿のほうが下水道接続より負担金額が少ないんです。それで接続しない世帯があるようです。下水道区域の世帯については、くみとりをしてもいいですが、少なくとも下水道と同じ料金を払ってもらえないかなと思っています。そういう意見をここでも挙げてもらい、上下水道の審議会でもし尿くみとりはどうなっているかという話が出るかもしれないので、そこがかみ合って行けば対応方針が決まってくると思います。その点はまた議論してもらったらいいと思います。

肥料代が高騰していますが、下水もくみとりも汚泥をうまく活用している自治体もあり、技術的に解決しなければならない課題もありますが、ぜひ他の事例も研究してもらって、せっかく亀岡では地産地消の野菜も作っているので、肥料を地産地消で供給できるように、ひとつの施策として、総合的に考えていくことが大事な時代になってきたかなと思います。

生活排水処理基本計画は廃棄物に比べて専門的で難しい言葉が並んでいて生活の実感から遠いところがあると思いますので、次回以降、議論する際に、数字などわかりやすい資料を添えていただきたいです。

今度から生活排水処理基本計画を先に議論してもよいかもしれません。時間が足りなくなってしまいますので。

■委員

内容が全くわからなくて、下水に繋ぐ・繋がらないということも普通はわからないです。くみとりに行く地域は山あいだけだと思っていたので、お金をかけたくない世帯がいるということを今知りました。違反しても続けられるんですか。

■会長

法令の義務ですが、罰則がなく、役所から「接続してください」とお願いするしかないんです。

■委員

くみとりの集金に行っても、家に人がいなくて支払わない人が多いらしいです。

■会長

全体としては料金の回収率が高いですが、一部の払わない方がいると不公平になります。料金の徴収についてはこの計画には入らないですね。

■事務局

処理についての計画となります。

■会長

せっかくのご意見なので、適正な料金をお願いしますといった内容は添えてもらっ

たらと思います。

■委員

し尿収集人口について、目標を勝手に書いているだけで、どうすれば人口が変わるのが計画では見えてきません。自家処理人口は1400人もいるわけがないのと思うので、そのあたりきちっとした数字を出してもらいたいです。

■会長

し尿の収集運搬でCO2をどう減らすかも計画の内容に盛り込んでいただきたいです。

■事務局

続きまして、事務局からの連絡事項としまして、次回の本審議会の開催についてでございます。

次回の会議につきましては、今後のスケジュールの関係から11月から12月頃を目途に開催したいと考えております。開催候補日を決定し次第、日程調整表をお送りさせていただきますので、お手数ですが、FAX及びメール等でご回答をお願いします。その上で、各委員の日程を確認させていただき、開催日について別途通知し、お知らせ致します。

次回以降の開催回数が少なくなってきているので、会長からもあった通り、ご意見等があれば電話等でお知らせいただければと思います。

事務局からの連絡事項は以上でございます。

■事務局

会長、ありがとうございました。以上で、第51回亀岡市循環型社会推進審議会を閉会させていただきます。皆様、ありがとうございました。

(閉会)